

The Masque of the Red Death

by
Edgar Allan Poe

And now was acknowledged the presence of the Red Death. He had come like a thief in the night. And one by one dropped the revellers in the blood-bedewed halls of their revel, and died each in the despairing posture of his fall. And the life of the ebony clock went out with that of the last of the gay. And the flames of the tripods expired. And Darkness and Decay and the Red Death held illimitable dominion over all.

谷崎精二
(1913)

これぞ『赤い死』が現れたのだと認められるに至つた。『赤い死』は夜の闇に紛れて盗賊の如く忍び入つたのだ。遊宴者は一人々々血に塗れて、彼等の歡樂の部屋に倒れたまゝの傷ましい姿で死んで行つた。黒檀の時計の壽命も最後の躁宴と共に盡きた。そして三脚架の焰も消えた。唯暗黒と頽廢と、そして赤き死とが、凡ての上に無限の領土を保つた。

江戸川 乱歩
(1949)

かくして、「赤き死」の出現は、もはや疑ふ餘地もなかつた。疫病は夜盜の如く忍び入つたのである。やがて、饗宴の人々は、一人づつ、一人づつ、血汐にぬれた歡樂の部屋部屋に斃れ伏し、そのまゝ絶望の姿で死んで行つた。饗宴の最後の一人が息絶えると同時に、かの黒檀の大時計の壽命も終り、三脚架の火焰も死滅した。そして、暗黒と、頽廢と、「赤き死」とが凡てを支配した。

松村 達雄
(1974)

いまや、「赤死病」がその姿を現わしたことは誰にもはつきりとみとめられた。この怪物は夜盜のようにやってきたのだ。そして踊り手たちは、血に彩られたその歡樂の部屋部屋で、一人また一人とたおれてゆき、たおれ伏した絶望的な姿のまま、みなおのおの氣息きれていった。浮かれ狂っていた者たちのいよいよ最後の一人も命たえて、それと同時に黒檀製の時計もまたはたと動かなくなつた。三脚架のかがり火も消え果てた。そして、暗黒と荒廢と「赤死病」とが、あらゆるもののうえにそのほしいままなる勢威をふるうばかりであつた。

巽 孝之
(2009)

そしてこの瞬間である、「赤き死」が入り込んでいるのが確認されたのは。この疫病は、あたかも夜盜のごとくに訪れた。そして仮面舞踏会のメンバーたちは、まさにこの血塗られた会場のさなかで、ひとりまたひとり倒れ、それぞれが絶望的な姿勢で最期を迎えていった。そして黒檀の時計もまた、最後の放蕩者とともに、その生命を終えた。そして三脚架の炎もついに立ち消えた。あとには暗闇と荒廢と「赤き死」とが、いたるところ蔓延するばかりであつた。